



●発行 2016.1.15. NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者 川岸卓哉

## ■福島からエネルギーシフトに向けて、上映会と講演会■

今年4月からの電力小売全面自由化に向け、1月31日(日)午後2時から6時半まで川崎市平和館・屋内広場にて「日本と原発」の上映会と講演会を行います。

「日本と原発—私たちは原発で幸せですか?」は、全国で上映運動が広がり1年間で千回、観客動員約7万人の自主上映会が行われたドキュメンタリー映画です。福島原発事故の被害者救済に立ち上がった二人の弁護士の問いかけです。

「どうなる電力自由化と再生可能エネルギー」の講演の講師は、川崎市在住の市民電力連絡会会長・竹村英明さん。「脱原発と省エネは私の人生そのものだ」という竹村さんは、再生可能エネルギー普及のため自ら発電会社を設立し、更に、再エネの売電会社事業に向けて邁進しています。新しい電力会社の経営者として、また市民活動家40年の両面の立場から全国で講演活動をしています。

### ■ 電力完全自由化で、消費者が社会を変える

原発ゼロと再生可能エネルギー促進を目指す私たちにとって、電力自由化が一体どんな意味をもっているのでしょうか?これが福島原発事故からつながる今回の講演の企画テーマです。

これまで小売電気事業者として登録を行った者は73社(12月18日現在)。LP・都市ガス系や石油系、再エネ系など、いろいろな業者が参入しています。大企業は次々と広告を打ち出し、セット販売などコストやサービスを強調します。東電も競争に負けまいと、電力の割引を打ち出しました。再エネ系の売電会社の動きはあまりマスコミには登場しません。

日本の電力自由化はすでに2000年から2000kw以上の需要家を皮切りに少しずつ拡大されてきました。電気市場は18兆円。その内4月から生まれる小売市場は8兆円です。日本のGDP約500億円に比べて、いかに巨大産業が分かるでしょう。これまで、独占企業がこの市場を牛耳ってきました。しかも、公共性が高いという理由から総括原価方式に採用され、費用の3%の利益が確保されてきました。つまり費用から逆算して電気料金を上げることができていたので



す。一般的に企業はコストを下げる努力をしますが、電力会社は費用を上げれば上げるほど、逆に利益が上がるのでコスト意識はあまりありません。下請け企業が値引きを申し出ると「必要ありません」と電力会社は言うので、企業にとってこれほどありがたい会社はありません。この巨大なマネーが原子力村という結社を生み出し、企業はもちろんのこと学者や政治家、選挙運動も動かし、原発を促進してきました。

世界は発電、送電、小売りの分離を進め、「燃料費タダ」の再生可能エネルギーへと動いています。OECD諸国の中で、改革していないのは、今や日本だけになってしまいました。日本はこうした流れに逆らい、そして福島原発事故に至ったのです。

この電力自由化をチャンスに再生可能エネルギーの供給を中心にする新しい電力会社を設立しようとする会社が生まれています。しかし、そうした会社にとって、この1、2年の政府の動きはとても厳しい状況になっております。竹村さんには「電気を選んで社会を変えたい」皆さんに、その現状と未来を語ってもらいます。

【理事 高橋 喜宣<sup>きよし</sup>】

## ■オフグリッド太陽光発電ワークショップのご案内■

さて、2016年2月13日(土) 13:00~16:30 多摩市民館 5階 実習室にて、NPO 法人 太陽光発電所ネットワーク 神奈川地域交流会と共催で、「出前発電所」と名づけた手作りの太陽光発電システムの組立講座「出前発電所を作ろう！」を開催します。

原発ゼロ市民共同かわさき発電所としては昨年10月17日を皮切りに2回目となります。



2015年10月17日のワークショップの様子

この「出前発電所を作ろう！」は 独立型 PV(太陽光発電)システムの組立過程を通して、楽しみながら PV システムの理解を深めることを目的にしています。災害時の非常電源にも利用できる、出前発電所をご自身で実際に作ってみませんか？

初めての方でも、簡単に組み立てができるような資材を準備するとともに、材料をまとめて調達することで、送料を抑えるなどし、お手ごろな価格(材料費、テキスト代込みで31,500円)で作れるようにしています。また組み立て後は電車でも持ち帰ることができるよう、「出前キャリーカート(L)」も準備いたします。

見学もOKです(資料代500円)。それでは皆様のご参加をお待ちしております。 【事業検討チーム 木田 千栄美】

PV-Net 神奈川地域交流会 → <http://blog.livedoor.jp/pvkanagawa/archives/8295330.html>

===== プ ロ グ ラ ム =====

### ■原発ゼロ市民共同かわさき発電所の紹介

#### ■講義：電気の基本のおさらい

PV(太陽電池)モジュールを理解しよう！

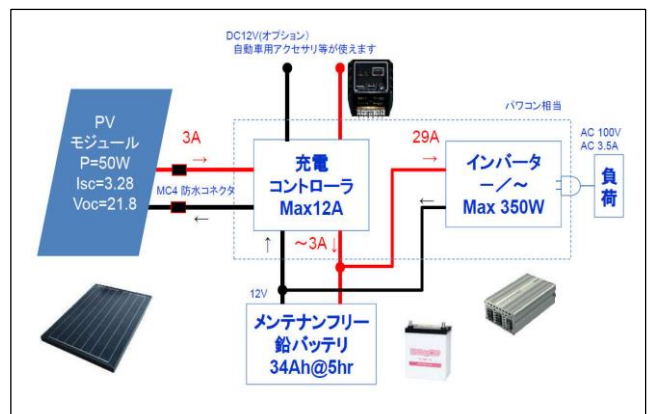
蓄電池の話

パワーコン ≡ コントローラ+インバータ

電線の選び方

楽しい100円ショップ探訪

#### ■実習：端子の圧着、発電所の電気接続、動作確認





## ■日影の法的な問題■

### ～日影による権利侵害と法的規制の必要性～

#### ●1号機、危うし!

でん太通信第15号でもお知らせしましたが、当法人の発電所1号機の南側にマンションが建つ計画があり、もし計画通りにマンションが建てば、太陽光パネルの上に日影が生まれ、1号機の発電量が減ってしまいます。私たちは、この問題を法的に検討してみました。

#### ●日影を作ることは重大な財産権の侵害

電気は、売ったり買ったりする対象になるものです。また、犯罪について定めた刑法も、電気を盗んだ人を処罰することとしています。これらのことから、電気には法的にみて財産的な価値があることが明らかです。



日影は、太陽光パネルを設置した人が将来的に得られたはずの電気の量を減らしてしまいます。電気には財産的価値があるのですから、日影を作るとは、将来得られたはずの財産を得られなくしてしまうことになり、財産権の侵害になります。

また、太陽光には代替性がなく、ひとたび発電量が減れば売電収入による太陽光パネルの設置費用・維持費用の回収計画が確定的に破たんしてしまいます。このため、財産権の侵害の程度は重大といえます。

#### ●条例を作ろう!

日影による発電量の減少問題は、当法人の問題に限らず、建物が密集した川崎市内の各地で発生し得るものです。

既に建築基準法による日影規制はありますが、規制された時間帯が限られているなど、その内容は不十分なものです。

そこで、私たちは、川崎市の条例によって、日影の規制を拡大すべきであると考えています。具体的には、日影が規制される時間帯を建築基準法より長くしたり、日影を生じさせた者に対して減少した発電量を補てんする措置をとることを義務付けたりするのが良いのではないかと検討しています。

条例は、憲法や地方自治法によって、法律に相反するものであってはならないとされていますが、私たちの検討する条例は、この点については問題がないと考えています。

#### ●川崎市のために

条例による法的な規制によって太陽光発電を保護することは、川崎市が災害に強く環境に優しい持続可能な街となることにつながります。規制は、単に財産権を保護するだけでなく、川崎市の公益を確保・増大させることにもなるのです。

【政策検討チーム 岩坂 康佑 (弁護士)】



今月号から運営メンバーです。多岐にわたってご活躍されている 永田眞一さんの自己紹介です。



私は建設会社で26年間主に設備設計を担当、その後実行できなかったアイデアを実現するため転職、多数の自社建物で省エネを中心に効果を確認、実践して参りました。現在も顧問として新規事業の立ち上げを行っていますが、その一つが熊本県天草で2012年12月に稼働を始めた2メガワット(2000Kw)のメガソーラーです。環境負荷を減らすためコンクリートをほとんど使わず、温度対策や雨水対策を考案し地元の小学生たちに教育の場として提供してきましたが、少子化の影響で昨年廃校になってしまいました。

仕事とは別にいくつかのNPO活動に参加しています。最も時間を取られているのが創立24年目に入るNPOユーラシアンクラブで行なっている中央アジアの国々との親善交流活動です。2012年9月には国交20周年記念行事として、ウズベキスタンのテルメズで遺跡発掘を続けている名誉会長の加藤九祚先生を中心に行った遺跡内やレジスタン広場でのアジアのミュージシャンによるコンサートはそれは素晴らしいものでした。各地で現地テレビ局の中継

もあり、プハラ芸術大学では文化大臣も来場されました。

昨年5月から大阪国立民族学博物館を皮切りに新潟県立歴史博物館、現在は横浜ユーラシア文化館で1月11日まで開催されている「岩に刻まれた古代美術-アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリャン-」は13000年前に岩に掘られた線刻岩絵を中心に民芸品などによる文化紹介を行っています。ナナイ族が住む300人の村シカチ・アリャンとはクラブ創設以来の交流があります。アンコール・ワット拓本保存会の協力で貴重な拓本を取ったり、3D映像用の写真撮影、古民具・服飾・魚皮製品の収集などを行い開催にこぎつきました。好評なことから2年ほど置いて再度日本の各地で展覧する予定です。

個人的には西アフリカ・ブルキナファソへの難民支援のため食料品を昨年送りましたが、今後は自立のために特産品のシアバター(保湿化粧品や食料)の商品化を考えています。

「ふくしま再生の会」や諸団体を通じた東北支援も新しい形を展開したいところです。途上国でのソーラーパネルワークショップなども今後考えてみたいし、NPO原発ゼロ市民共同かわさき発電所のなかで自分の立ち位置で出来ることを継続したいと思っています。まずは太陽光発電施設が日影の影響を受けることへの市条例制定に向け頑張ります。

自宅でアンティークガラスギャラリーを営業しています。興味のある方がいましたら是非お越しください。

永田 眞一

【編集後記】

私が住んでいるマンションの大規模修繕工事が始まった。全体で5千万円を超える金額に加え、各戸の玄関ドアの色褪せがひどくなったため(機能的には異状なし)の交換費用930万円が総会ですんなり承認された。私個人としては、このお金があれば10階建てという好条件の屋上にソーラーパネルを設置できたのに提案しなかった口惜しさがついている今日この頃でございます。。(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

